

第3集

昭和十八年度

才一画評議員合議事録

財団法人

日本市民文化研究所

宇野脩平



Faint handwritten text in vertical columns, likely the main body of the minutes or report.

(十三)



昭和二十九年五月三十一日
 第一回評議員會議事録
 一、場所 港区三之三田綱町十番地 浪沢邸
 二、出席者 評議員 磯貝 勇 評議員 石田英一郎
 市川信次 伊豆川謙吉
 同 田正雄 小川 徹
 小宮山若木 小井川菊次郎
 振井喜太郎 澤田四郎
 鈴木 勲 柳山吉典
 柳中喜良美 知蓮英志保



昭和二十九年五月三十一日
 第一回評議員會議事録

昭和二十九年五月三十一日

評議員	奈良環之助	評議員	服部一馬
"	祝木忠静	"	藤永元作
"	松井佳一	"	宮本 璋
"	宮本忠一	"	山口和雄
"	山田明男	"	吉田三郎
理事	杉田勝徳	理事	宇野備平

四、評事専任

杉田理事長議長となり、南谷を宣託し、出席者定足数に達したるを報告し、次に評事録署名名人に服部一馬、折嘉一郎両氏を指名し、評事に入る。

◎ 評事専任一馬、折嘉一郎両氏を指名し、評事に入る。
 昭和二十九年年度事業報告及び決算に関する件

◎ 杉田理事長より、当年度の事業概要および決算に関する報告があり、全員異議なくこれを承認した。

◎ 昭和二十九年年度事業計画及び決算に関する件
 議長は指名により、宇野、吉野、理事、事業計画等からなる報告を聞き、議長よりこれらに意見を述べ、度以降の水産庁からの調査委託書の継続については予測をゆるぎなく、役員一丸となってこれに打撃にあたりたいと語り、承認あり、全員異議なくこれを承認した。

◎ 役員身政選出件
 議長は役員身政選出の件について、新英所財



政的問題に對知する為め、此決議を以て之を以て戦國の人
 である中山正則氏も是れ非加えて、今後に備えたい旨
 の提議あり、全員之を詳しなく、これを承認した。
 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野脩平
 指 西 光速 理事 桜田勝徳
 中山 正則 理事 内利美
 羽 祭 又 吉 理事 長谷川重三郎
 監事 遠藤 武 監事 長谷川重三郎
 以上決議案を全部終了し、午後一時半議長閉会
 を告げ入衣。二時三十分同氏等退席し、議長入衣。
 昭和二十九年五月二十四日 櫻田勝徳 議長
 以上

議長

櫻田勝徳

署名人

服部一馬

署名人

梶 嘉一郎

署名人

署名人



昭和三年六月廿度ノ寸。

第一、一個理事會議事録

一日時 昭和三年五月三十日 午後一時半 南会

◎ 場所 港區 芝田洞町十番地 波采邸 遊園

出席者 理事 有賀喜友衛門 櫻田脩平

中野五郎 櫻田脩平 則利 櫻田脩平

◎ 議案 第一、山形正則 櫻田脩平 則利 櫻田脩平

◎ 議案 第二、宮本馨太郎

四、理事會領 櫻田脩平 則利 櫻田脩平 則利 櫻田脩平

杉田理事長 議長 櫻田脩平 則利 櫻田脩平 則利 櫻田脩平

昭和三年六月廿度ノ寸。

日本書局 櫻田脩平



(十三番)



算

の旨を報告し、酒本が議事録署名人に宇野常務理事
 宮本藤太郎の両理事を指名し、議事に入る。

◎ 議案第一号
 理事長互選の件

議長、ナマの評議委員会にて、新たに送任のありた
 中山正則氏を新理事長に推したい旨の提案をし
 たところ、全員一致してこれを承認した。

◎ 議案第二号
 此れより議長は中山正則氏となり、議事を進行する。

◎ 議案第三号
 昭和三十九年度事業報告及び決算書に関する件
 議長、指名により宇野常務理事より、当年度
 の事業概要および決算書報告があり、全員異議
 なくこれを承認した。

◎ 議案第四号

昭和三十九年度事業計画及び予算案に関する件
 議長、指名により、宇野常務理事より事業計
 画ならびに収支予算案を読みあげ、議長を以てついで
 意見を求めたところ、有賀、宮本両理事より、水
 産庁よりの調査委託費の継続について、島根慮して
 いる旨の発言があり、さらに議長が指名により宇野
 常務理事より予算案の見通し、報告をうけると同
 時に、通業制度改革資料調査（全国、瀬戸内海）
 は最要の場合、三十九年度において終止の付を打たぬ
 旨の発言があり、述べ、この際、数年未だ積せ
 られた資料の整理に重点をおき、資料整理の筆字を
 優先的に行いたい旨の発言があり、全員異議なく



(十三)

